

求職者の動向・意識レポート <仕事探し当時の働き方・希望した働き方>

株式会社リクルートジョブズの調査研究機関「ジョブズリサーチセンター」では、求職者の動向や意識を調査するために隔年で「求職者の動向・意識調査」を実施しています。本レポートでは、2017年に実施した「求職者の動向・意識調査 2017」より、仕事探し時に就業しており、アルバイト・パートでの就業を最も希望していた回答者を対象に、当時の働き方と希望した働き方の比較を行いました。

主な結果は以下の通りです。全体として、多くの人は仕事探し当時の仕事をもとに「同じか少し増減」した働き方を希望していると考えられます。また、いわば「キリのよい」条件があり、たとえば勤務日数では「3日」や「5日」、時給であれば「1000～1100円未満」を超えるかどうか、アルバイト・パート希望者にとって大きな違いとなっていると考えられます。求人を出す際や、すでにいるスタッフの条件を変更する際には、このような面を考慮すると効果的になる可能性があります。

- <勤務日数>
 対象者が希望した週あたりの勤務日数は、当時の勤務日数と比較して「5日」希望は少なく、「3日」希望が多くなっている。当時の仕事が1日～4日の場合は、それと同じかそれより少し多い勤務日数を希望した割合が高い。5日以上の場合は、それと同じか少し少ない勤務日数を希望した割合が高い。(p.3)
- <勤務時間>
 希望勤務時間は、当時の勤務時間と比較して「4～6時間未満」「2時間未満」希望がやや多く、7時間以上は希望が少ない。当時の仕事が6時間未満の場合は、それと同じかそれより少し多い勤務時間を希望した割合が高い。6時間以上の場合は、それと同じか少ない時間を希望した割合が高い。(p.4)
- <時給>
 希望最低時給を仕事探し当時の時給と比較すると、「750円未満」「750～800円未満」は少なく、「800～900円未満」「900～1000円未満」「1000～1100円未満」は多くなっている。当時の仕事が1000円未満の場合は、それと同じかそれより少し多い時給を希望した割合が高い。1000円以上の場合は、それと同じか少ない時給を最低条件とした割合が高く、特に「1000～1100円未満」を最低条件とした割合が少なくない。(p.6)
- <職種>
 当時の職種と比較して割合が高いのは、「販売・サービス」「事務」「フード」「物流技術職」「レジャー、遊戯」など。当時の職種を希望した人の割合が高い（同職種希望が多い）のは、「事務」「理美容・医療」「販売・サービス」など。(p.7)

調査概要

	求職者の動向・意識調査 2017
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働市場における求職者の就業実態および意識を明らかにする ・ 未就業者（専業主婦/主夫など）の求職実態および意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査（インテージ社モニター利用）
対象者条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国 15～69歳の男女 ・ 最近1年間に仕事探し経験あり（新卒以外） ・ 現在および仕事探し当時の職業が アルバイト・パート、正社員、契約社員、派遣社員、専業主婦/主夫、無職・定年退職
調査期間	2017年9月11日（月）～9月15日（金）
有効回答数	19,287人（ウエイバック集計） ※本レポート対象者は、仕事探し時に就業しており、仕事探しにおいて「アルバイト・パート」を最も希望していた4,609人。

※ ウエイバック集計を行ったため、就業形態別の回答者数合計と全体数が合わないことなどがある。
 ※ グラフと数表は、集計結果の小数点第2位を四捨五入して表示している。

参考ページ

- 求職者の動向・意識調査 2017 基本報告書
http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20171030_723.html
- 求職者の動向と意識の変化 <求職者の動向・意識調査 2013-2017より>
http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20171219_744.html
- 求職者の動向・意識レポート（シニア編／若年層編／既婚女性編）
http://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20180216_812.html

1. 回答者プロフィール

就業形態

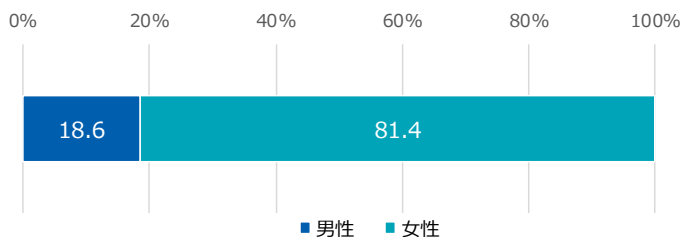
本レポート対象者は、仕事探し当時に就業しており、仕事探しにおいて「アルバイト・パート」を最も希望していた4,609人。（※ウエイトバック集計を行ったため各就業形態の合計と数値が異なる。）

	上段:n 下段:%	希望					
		アルバイト・パート	契約社員	派遣社員	正社員	限定正社員・その他	
当時	アルバイト・パート	5,754 100.0	4,135 71.9	180 3.1	219 3.8	1,119 19.4	102 1.8
	契約社員	1,114 100.0	101 9.0	344 30.9	62 5.5	572 51.4	35 3.1
	派遣社員	1,185 100.0	96 8.1	92 7.7	531 44.8	441 37.2	25 2.1
	正社員	5,575 100.0	278 5.0	91 1.6	62 1.1	5,056 90.7	88 1.6

↓
レポート対象者
4,609人

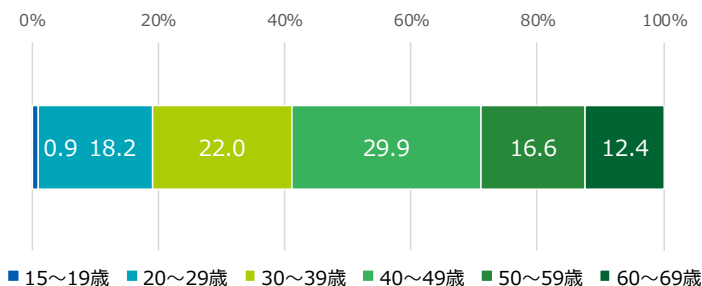
性別

対象者の性別は、女性が約8割、男性が約2割。アルバイト・パート希望者が対象のため、女性の割合が高くなっている。



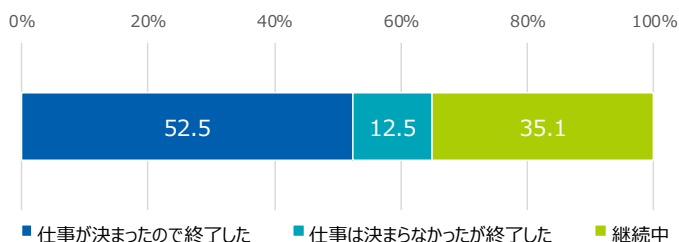
年齢

対象者の年齢の分布は右のグラフの通り。40代が最も多くなっている。



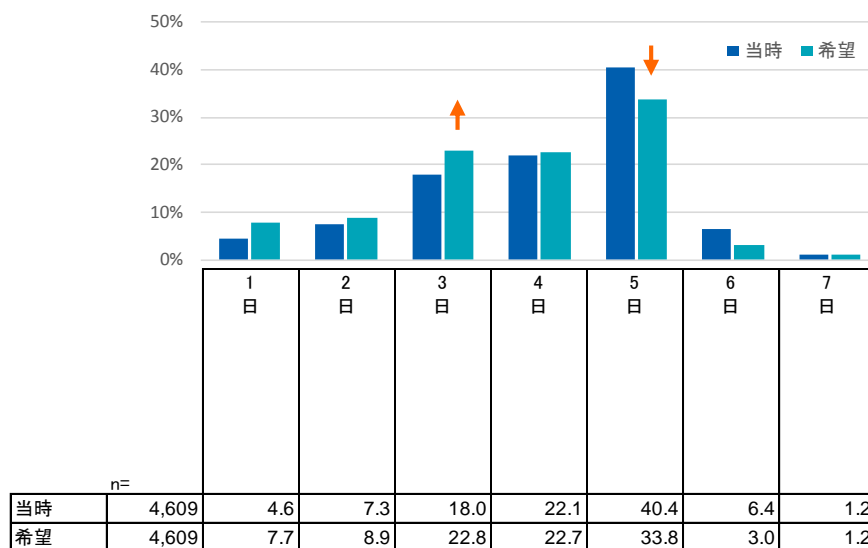
新たな仕事の決定状況

対象者の約半数が「仕事が決まったので終了した」と回答している。一方で、「仕事は決まらなかったが終了した」とあきらめている人もいる。



2-1. 仕事探し当時の勤務日数(SA) と 希望した勤務日数(SA)

対象者が希望した週あたりの勤務日数は、「5日」が最も多く、「3日」「4日」と続く。当時の勤務日数と比較して「5日」希望は少なく、「3日」希望が多くなっている。



2-2. 仕事探し当時の勤務日数 × 希望した勤務日数

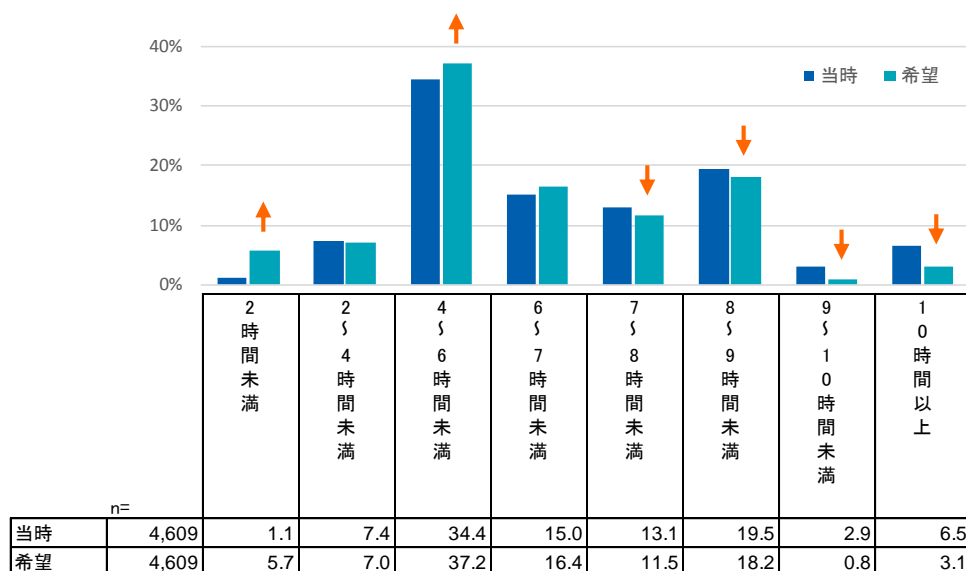
当時の週あたり勤務日数別に、希望した勤務日数を見ると、当時の仕事が1日～4日の場合は、それと同じかそれより少し多い勤務日数を希望した割合が高い。5日以上の場合は、それと同じか少し少ない勤務日数を希望した割合が高い。当時の仕事が3～5日の場合は、当時と同じ日数を希望する割合が半数以上となっている。

		n=	希望(%)						
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
当時	1日	212	38.3 →	16.5	25.0	8.9	7.4	1.6	2.4
	2日	337	6.2	38.4 →	31.0	14.6	7.6	1.5	0.7
	3日	830	4.6	12.0	55.5 →	17.5	9.9	0.1	0.4
	4日	1,018	5.4	4.9	17.4	50.9 →	19.2	1.4	0.9
	5日	1,863	7.5	4.6	11.3	14.3 ←	58.9	2.4	0.9
	6日	294	6.3	3.8	12.1	14.1	41.6 ←	21.5	0.6
	7日	55	4.4	3.0	14.0	12.8	28.3	8.7 ←	28.9

※網掛けは上位2項目。

3-1. 仕事探し当時の勤務時間(SA)と希望した勤務時間(SA)

対象者が希望した1日あたりの勤務時間は、「4～6時間」が最も多く、「8～9時間未満」「6～7時間未満」と続く。当時の勤務時間と比較して「4～6時間未満」「2時間未満」希望はやや多く、7時間以上は希望が少なくなっている。



3-2. 仕事探し当時の勤務時間 × 希望した勤務時間

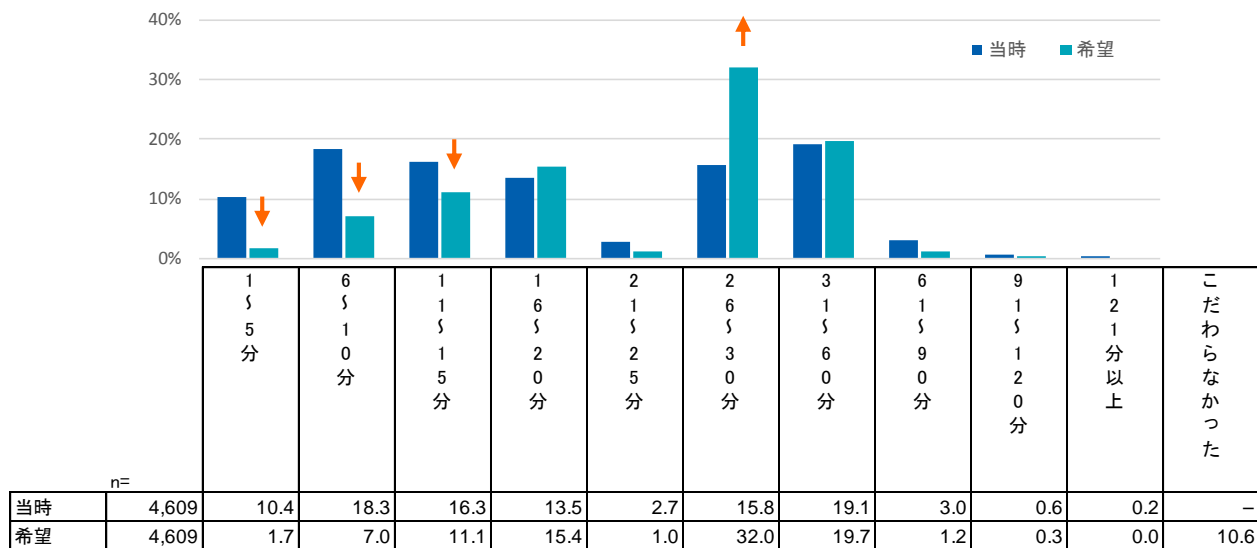
当時の1日あたり勤務時間別に、希望した勤務時間を見ると、当時の仕事が6時間未満の場合は、それと同じかそれより少し多い勤務時間を希望した割合が高い。6時間以上の場合は、それと同じか少ない勤務日数を希望した割合が高い。仕事探し時代に正社員や契約社員・派遣社員としてフルタイムで働いていたが、何らかの事情で短時間の仕事を探した人もいと考えられる。

n=		希望(%)								
		2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10時間以上	
当時	2時間未満	52	45.6	9.6	26.4	7.4	0.0	4.8	0.0	6.2
	2～4時間未満	342	5.5	36.4	43.2	7.8	2.6	2.9	0.0	1.5
	4～6時間未満	1,587	5.8	4.8	64.5	13.4	4.9	5.4	0.2	1.0
	6～7時間未満	690	5.0	3.5	22.8	44.6	12.8	9.6	0.0	1.7
	7～8時間未満	602	4.7	4.6	19.1	12.5	41.4	16.3	0.3	1.2
	8～9時間未満	901	5.6	5.0	18.5	9.9	9.3	49.0	1.1	1.8
	9～10時間未満	133	3.2	6.7	20.9	10.5	4.0	42.1	9.7	3.2
	10時間以上	302	4.2	3.9	20.3	9.9	6.3	26.2	2.8	26.3

※網掛けは上位2項目。

4-1. 仕事探し当時の通勤時間(SA)と許容通勤時間(SA)

対象者が許容できるとした片道通勤時間は、「26～30分」が最も多く、「31～60分」「16～20分」と続く。当時の勤務時間と比較して「26～30分」は多く、15分以下は少なくなっている。許容できるのは30分以内で、もっと短ければなおよいという人が多いと考えられる。



4-2. 仕事探し当時の通勤時間 × 許容通勤時間

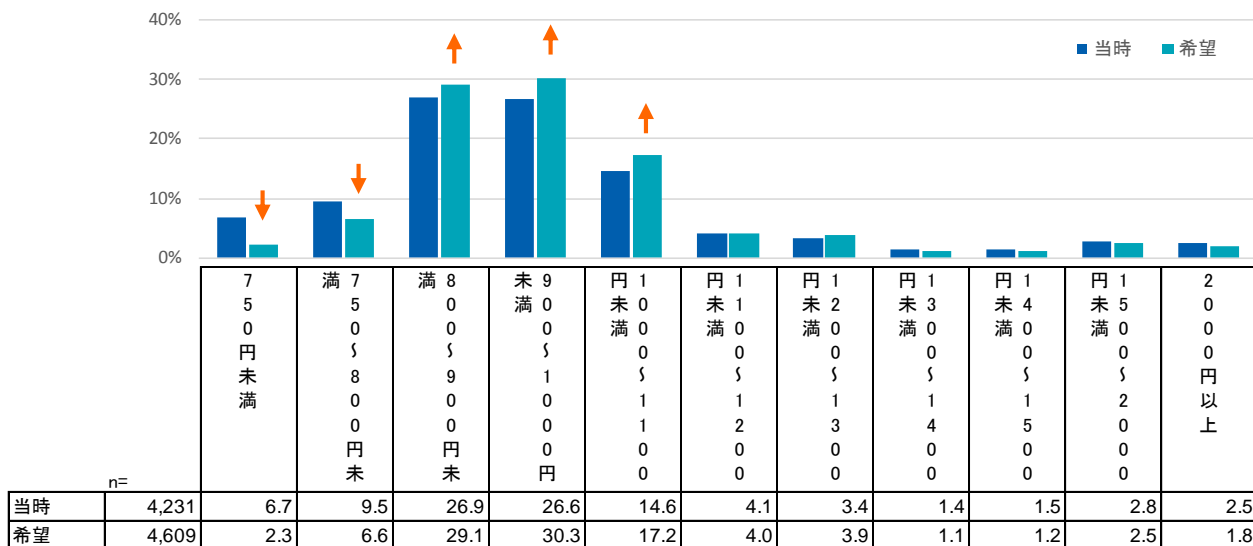
当時の通勤時間別に、許容できるとした勤務時間を見ると、当時の通勤時間が30分以内の場合は、それと同じかそれより多い勤務時間を希望した割合が高い。当時の通勤時間も許容できる通勤時間も20分以内という人も一定数おり、家事・育児、体力など、何らかの事情で通勤時間を抑えたい層ではないかと推測される。

n	希望 (%)											
	1～5分	6～10分	11～15分	16～20分	21～25分	26～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	こだわらなかった	
1～5分	480	10.2	15.6	18.2	15.2	0.0	23.3	7.0	0.2	0.0	0.0	10.3
6～10分	842	0.8	19.4	19.4	19.4	0.8	27.0	5.1	0.0	0.0	0.0	8.1
11～15分	752	0.6	4.2	21.9	25.9	0.7	33.0	5.7	0.0	0.1	0.0	7.9
16～20分	623	0.5	4.4	5.5	26.5	1.8	37.3	12.4	1.0	0.0	0.0	10.6
21～25分	126	0.7	1.6	9.0	11.4	12.6	40.0	14.1	0.0	0.0	0.0	10.5
26～30分	727	1.2	1.4	3.8	6.2	0.5	47.8	25.5	0.4	0.3	0.0	13.0
31～60分	879	0.3	1.3	2.4	5.6	0.5	24.8	49.6	2.7	0.3	0.0	12.5
61～90分	139	0.0	0.5	1.6	2.6	1.1	23.8	38.3	14.6	3.5	0.0	13.9
91～120分	29	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	51.0	9.5	5.0	0.0	14.7
121分以上	11	0.0	0.0	8.4	0.0	0.0	20.6	40.3	7.2	7.5	0.0	15.9

※網掛けは上位2項目。当時「91～120分」「121分以上」はn=30に満たないため参考値とする。

5-1. 仕事探し当時の時給(SA)と希望最低時給(SA)

対象者の希望最低時給を聞くと、「900～1000円」が最も多く、「800～900円未満」「1000～1100円未満」と続く。仕事探し当時の時給（当時アルバイト・パートが派遣だった人のみ）と比較すると、「750円未満」「750～800円未満」は少なく、「800～900円未満」「900～1000円」「1000～1100円未満」は多くなっている。



5-2. 仕事探し当時の時給 × 希望最低時給

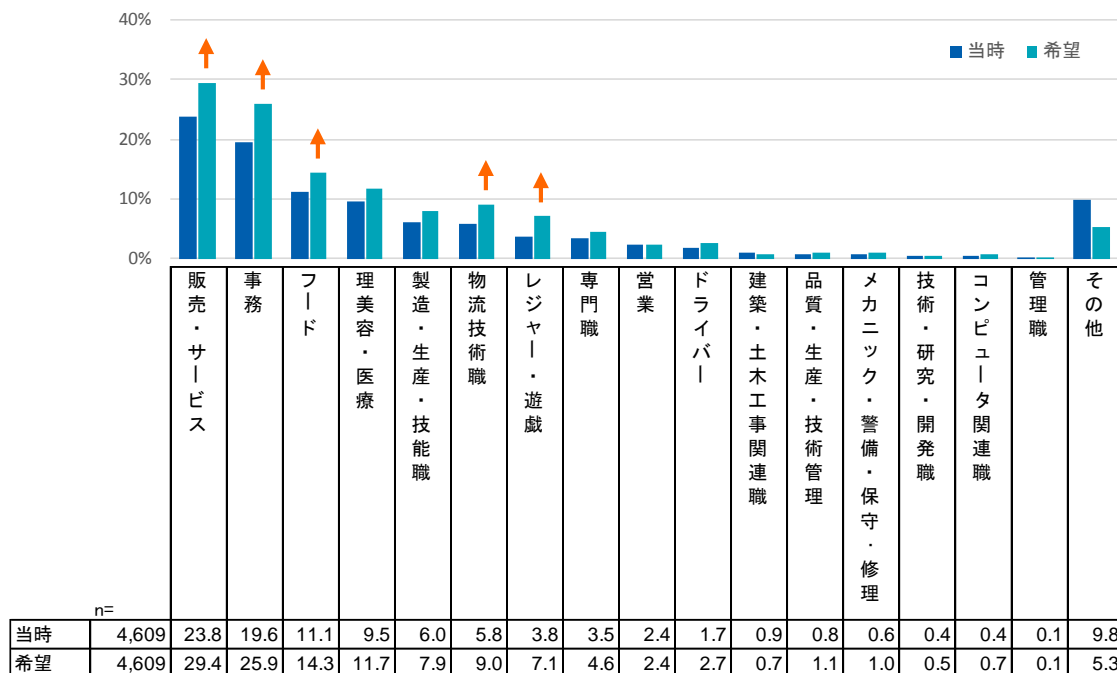
当時の時給別に、希望した最低時給を見ると、当時の仕事が1000円未満の場合は、それと同じかそれより少し多い時給を希望した割合が高い。1000円以上の場合は、それと同じか少ない時給を最低条件とした割合が高く、特に「1000～1100円未満」を最低条件とした割合が少なくない。他の条件がよければ時給が下がってもよいと考える人が少なくないものと考えられる。

n=	当時の時給	希望 (%)										
		750円未満	750～800円未満	800～900円未満	900～1000円未満	1000～1100円未満	1100～1200円未満	1200～1300円未満	1300～1400円未満	1400～1500円未満	1500～2000円未満	2000円以上
285	750円未満	26.1	26.3	27.7	10.2	6.1	0.6	0.8	0.3	1.0	0.9	0.0
400	750～800円未満	1.9	29.4	51.3	12.4	3.1	0.7	0.6	0.3	0.2	0.0	0.0
1,138	800～900円未満	0.4	4.7	60.5	27.2	5.9	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2
1,127	900～1000円未満	0.7	1.2	14.6	59.0	18.2	3.4	1.3	0.4	0.3	0.6	0.3
616	1000～1100円未満	0.3	1.4	9.8	26.6	41.4	8.9	8.4	0.2	1.2	1.2	0.7
173	1100～1200円未満	0.0	0.6	7.4	20.5	35.8	22.9	10.2	1.1	0.5	0.6	0.6
144	1200～1300円未満	1.1	1.8	7.9	13.0	24.6	9.0	34.2	4.8	1.3	1.7	0.6
61	1300～1400円未満	0.0	0.0	1.4	11.3	20.9	3.0	16.1	28.9	10.0	6.9	1.4
62	1400～1500円未満	0.0	3.1	11.8	13.1	16.8	4.5	7.2	4.4	25.3	10.8	2.9
120	1500～2000円未満	0.7	0.8	3.5	9.7	10.3	5.8	6.7	4.2	7.4	42.4	8.3
104	2000円以上	0.9	1.4	7.5	8.0	15.6	0.0	2.6	0.9	2.2	14.3	46.7

※網掛けは上位2項目。

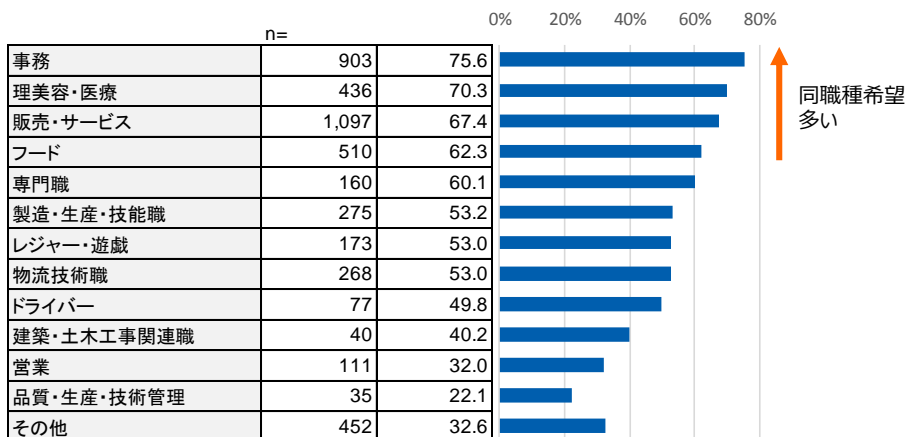
6-1. 仕事探し当時の職種(SA)と希望した職種(MA)

対象者が仕事探して希望した職種で上位にあがったのは、「販売・サービス」「事務」「フード」「理美容・医療」など。当時の職種と比較して割合が高いのは、「販売・サービス」「事務」「フード」「物流技術職」「レジャー・遊戯」など。アルバイト・パートとして働くことがイメージしやすい職種が希望されていると推測される。



6-2. 仕事探し当時と同じ職種を希望した割合

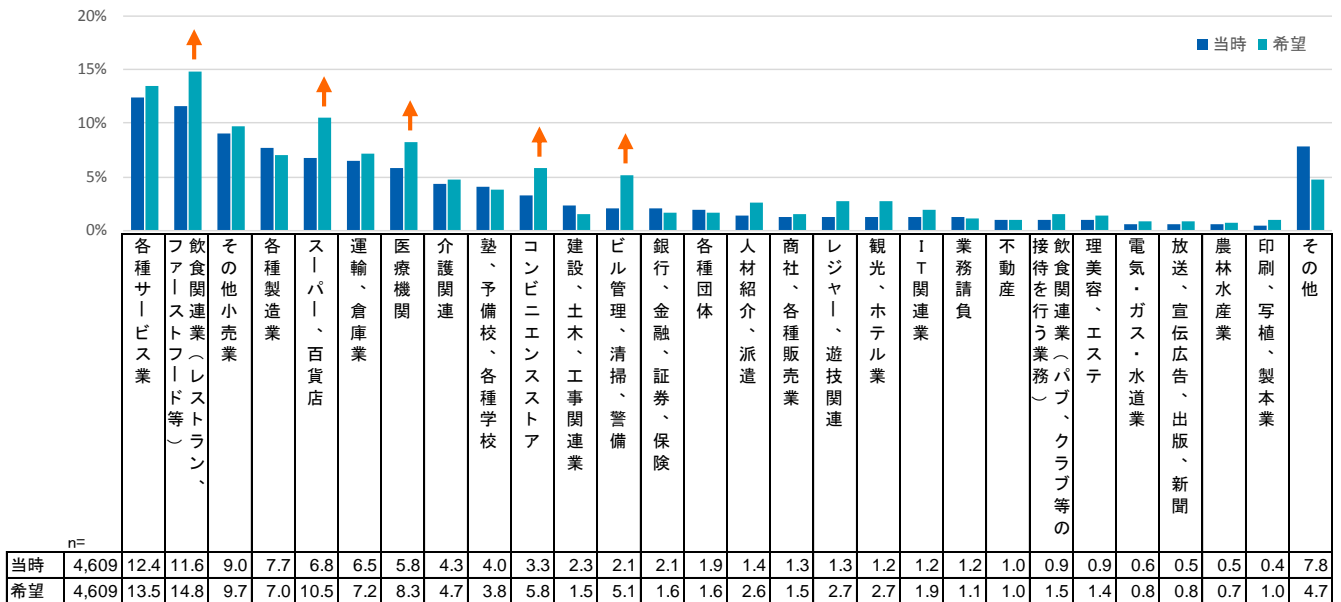
仕事探しの際に、当時の職種を希望した人の割合が高いのは、「事務」「理美容・医療」「販売・サービス」など。これらの職種では、多くの人が、仕事が変わっても同じ職種で働きたいと考えていることがわかる。



※n=30に満たない職種については割愛。

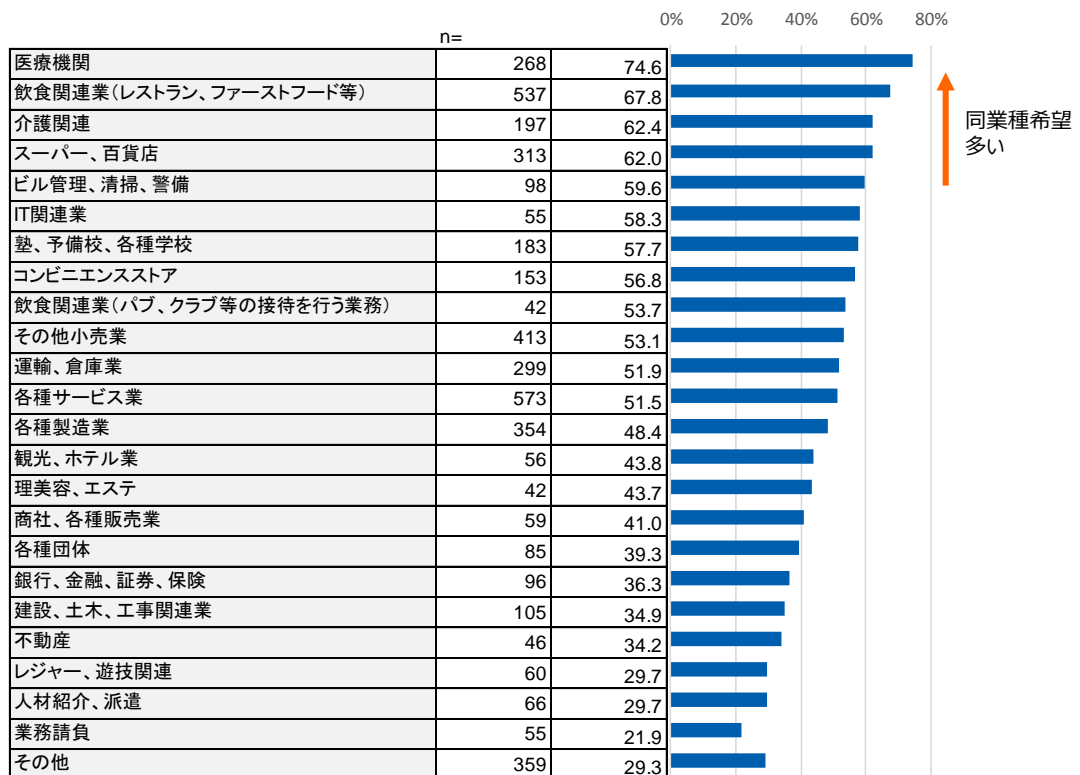
7-1. 仕事探し当時の業種(SA)と希望した業種(MA)

対象者が仕事探して希望した業種で上位にあがったのは、「飲食関連業（レストラン、ファーストフード等）」「各種サービス業」「スーパー、百貨店」など。当時の勤務先の業種と比較して割合が高いのは、「飲食関連業（レストラン、ファーストフード等）」「スーパー、百貨店」「医療機関」など。職種との結びつきが強く、アルバイト・パートとして働くことがイメージしやすい業種が希望されていると推測される。



7-2. 仕事探し当時と同じ業種を希望した割合

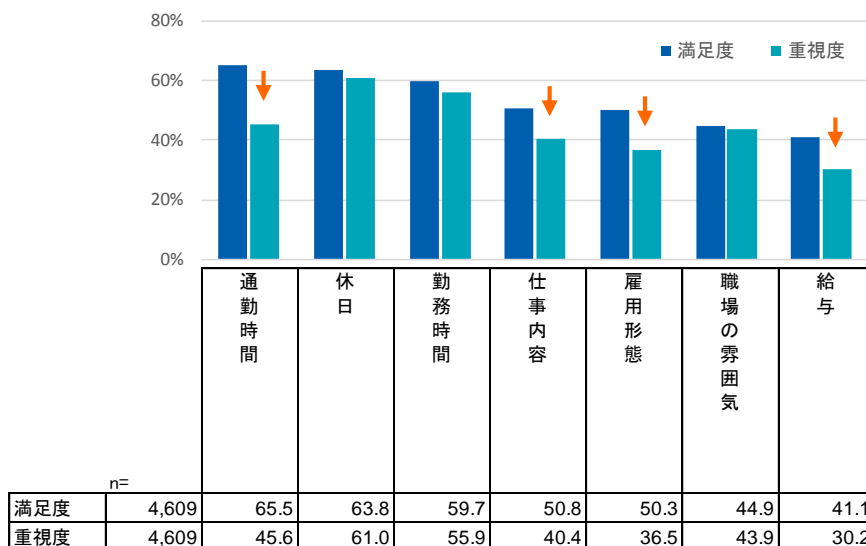
仕事探しの際に、当時の勤務先と同じ業種を希望した人の割合が高いのは、「医療機関」「飲食関連業（レストラン、ファーストフード等）」「介護関連」「スーパー、百貨店」など。



※n=30に満たない業種については割愛。

8. 仕事探し当時の満足度と重視度

仕事探し当時の仕事についての満足度を聞くと、「通勤時間」や「休日」「勤務時間」については満足していた人が多い。（※「とても満足していた」または「まあ満足していた」と回答した割合。）一方、仕事探しでの重視点を聞くと、「休日」や「勤務時間」は重視度が高い。「給与」や「雇用形態」は重視度が低く、条件変更の余地があると考えられる。（※「絶対条件だった」と回答した割合。）



9. 仕事探し当時の契約内容と希望した契約内容(MA)

勤務地限定の仕事希望していた人は68.0%、仕事内容限定の仕事は41.6%、短時間あるいは残業がない仕事は39.6%、期間の定めがある仕事13.8%。（※それぞれ「あはまる」と回答した割合。）当時の契約内容と比べると仕事内容、勤務時間、契約期間限定を希望した割合が大幅に低い。ただし、これは勤務地は強く意識しているものの、他については意識していなかった可能性もあるだろう。

